

経営比較分析表（平成28年度決算）

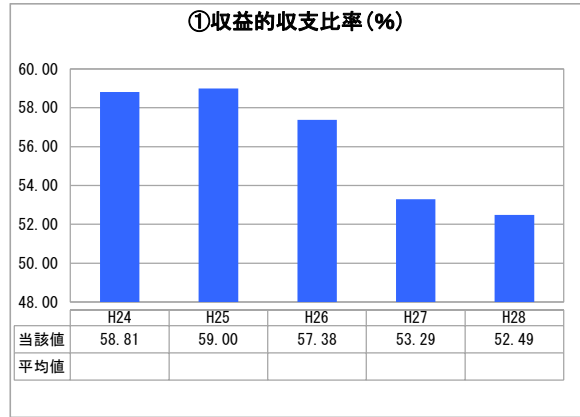
福井県 若狭町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	54.20	100.00	3,780

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,466	178.49	86.65
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,324	3.36	2,477.38

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



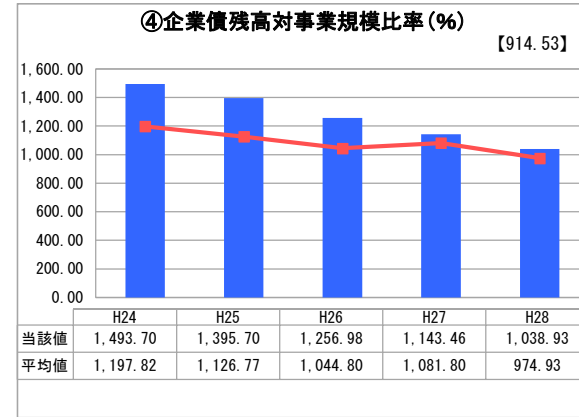
「単年度の収支」



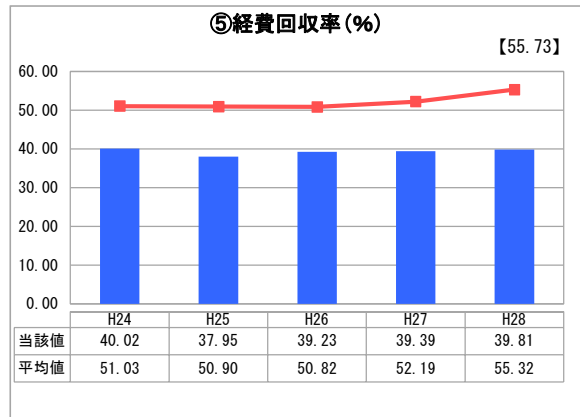
「累積欠損」



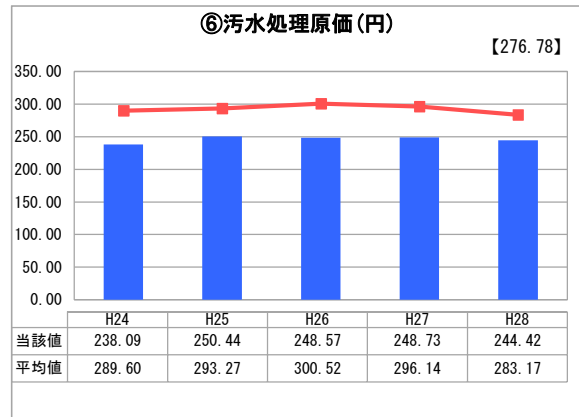
「支払能力」



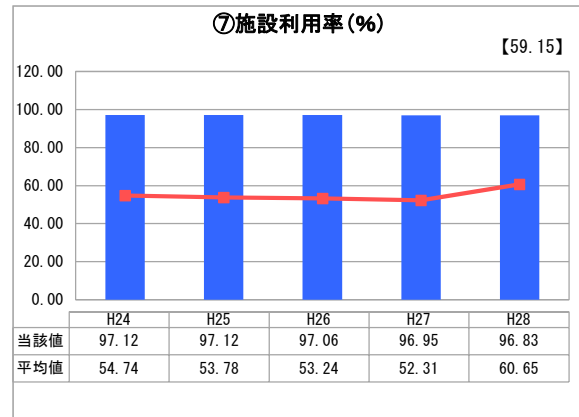
「債務残高」



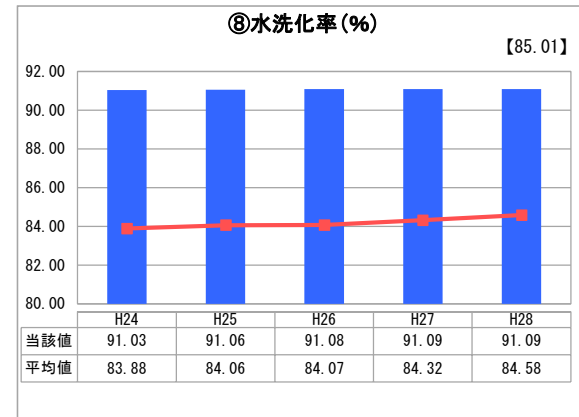
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

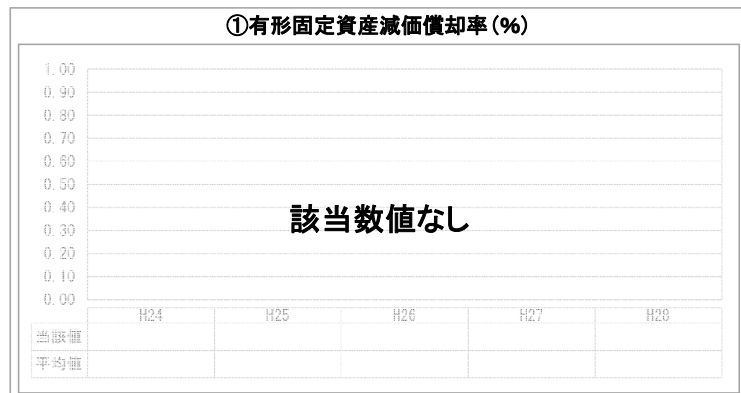


「施設の効率性」

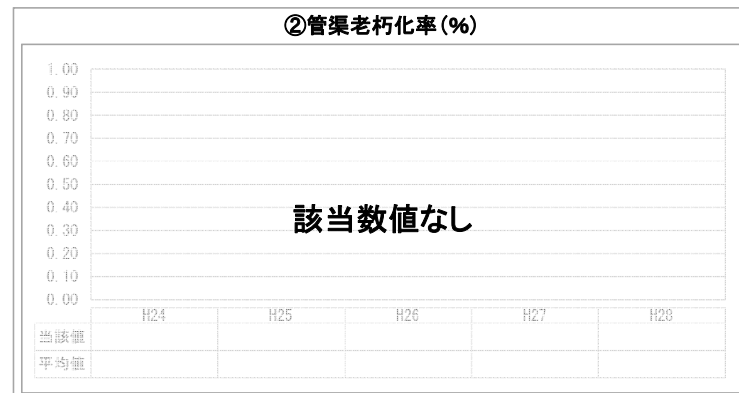


「使用料対象の捕捉」

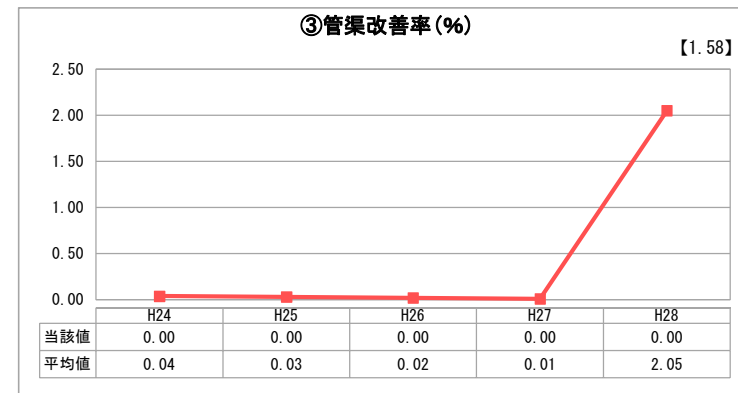
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率、⑤経費回収率、⑥汚水処理原価は、ここ数年の電気料金の値上げの影響により、収支が悪化している。経費を削減できる箇所を洗い出し、収支の向上に努める。又、新規加入促進を図り、使用料収入の増加に努める。地方債の償還が進み元金の比率が増加したことにより、収益的収支比率が低下している。現状は一般会計の繰入金に依存している状態である。

④企業債残高対事業規模比率は、農業集落排水事業の整備は完了しており、現在企業債の新規借入れの予定はないため、類似団体数値に近づいていくと考えられる。

⑦施設利用率、⑧水洗化率は、類似団体と比較し共に高い数値となっているため、残りの余地は少ないが、さらなる向上を図りたい。

2. 老朽化の状況について

当町の農業集落排水は9地区にわかれており、施設の供用開始年度は平成5年度から平成11年度となっている。

最も年数が経過した管渠で27年経過している。耐用年数を経過した管渠は無いため更新はおこなっていないが、耐用年数50年の更新時期をふまえ、更新計画を検討していく必要がある。

全体総括

現在は類似団体と比較しても高めの使用料料金設定となっているが、類似団体、近隣団体の動向に注意し、適正な料金にしていく必要がある。

又、類似団体と比較して経費回収率が低いため、新規加入促進による使用料収入の増加と、経費削減により経費回収率をあげていく必要がある。

当町の農業集落排水は、比較的規模の小さい9箇所の処理場が稼働しているため、経費がかかる原因となっている。

平成28年度より3ヶ年で処理施設、管渠の機能診断及び最適整備構想を行っている。

長期的には施設の統合を検討する必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。